

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	性の多様性推進事業										事業コード	730338		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造					
	施 策 名	1 偏見や差別のない多様性の尊重と理解促進								施策コード	311			
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室						所属長	芦田 直也					
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	122・124	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	第4次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2021」			R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	すべての人が多様な性を認め合い、性別並びに性的指向及び性自認に関わらず、互いに人権が尊重され、個性と能力を十分に発揮するとともに多様な生き方ができるまちをめざす。					
対象者	市民		対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		2,782		983		705						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		0		2,782		983		705						
予算財源内訳	① 一般財源	0		1,392		766		522						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		1,390		217		183						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	0		2,782										
	③ 執行額	0		702										
	④ 執行率	0.0%		25.2%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.03	/	0.00			/				
	② 概算人件費	0		240										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		942										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	196		決算附属資料	26		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	研修等依頼件数(出前講座)	件	0	/	0	0	/	0	14	/	5
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	主催講演会等の参加者数	人	0	/	0	0	/	0	55	/	100
	単位あたりコスト		0.0				12.8				
	単位あたりコスト		/		1		/		/		性の多様性推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・出前講座、セミナーの実施 ・パートナーシップ制度の運用、他市との連携協定締結 ・啓発活動（啓発物品の作成、配布・福知山城ライトアップ）	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・大規模セミナーは開催せず、市職員による出前講座により啓発をしたことで、支出が減った。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・出前講座やセミナーの開催により、多くの市民に性の多様性について啓発ができた。 ・啓発物品を市内の書店や観光施設等で配布し、市の取組を広く周知できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・令和4年度は条例を制定したこともあり、出前講座の依頼が多かった。令和5年度以降も、市民に関心をもって考えてもらえるように取組む必要がある。 ・パートナーシップ制度の届出件数は0件である。届出がしづらいのか、利便性を感じられないのかといった、原因の検討や対応が必要である。 ・トランスジェンダーの人が外出先で安心してトイレを利用できるよう、表記の見直しを検討していたが、具体的な取組には至らなかった。 ・性的少数者の方との直接的なつながりが限られており、課題を十分に把握することが難しい。		
改 善 策	・広く市民を対象としたセミナーを開催する。 ・出前講座や研修で利用できるよう、パンフレット等を作成する。 ・令和5年度に設立された「市民ぐるみ多様な性の在り方が尊重される京都推進ネットワーク」への参画による当事者団体とのつながりや、セミナー等で講師をされた方とのつながりにより、課題を把握できるよう努める。 ・パートナーシップ制度やトイレ表記については、利用しやすいものとなるよう、当事者の意見や他市の取組状況を参考にし、具体的な改善点を探る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	・性的マイノリティを対象とした交流会を定期開催する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)